

2021年度 事業計画

特定非営利活動法人 相模原ボランティア協会

《事業計画概要》

2021年度は、役員4人が交代し新体制でスタートします。そして6月には創立40周年を迎えますので、この10年の歩みなどを作り次世代に残していきたいと思えます。前年に引き続きコロナ感染症も変異型が出てくるなど増加し続けており、先が見通せませんが頑張っていきます。これからのボラ協は従来の事業の継続ばかりでなく、市社協との協働や地域ボランティアグループなどと連携し、この少子化・高齢化社会を乗り越えていきたいと思えます。

各事業については、HC事業や傾聴事業は利用者がますます増えると思えますので、ボランティアの増員や地域ボランティアとの連携も図ります。講座事業はZOOMを使ったオンライン講座やボランティア募集の為のボランティア養成講座も併せて行います。広報事業は情報発信という重要な役割を担っています。特にぼら通は会員以外にも広く読まれており、市政や市社協の情報なども発信していきます。

去年から始めたDVD制作については、ボラ協PR用とHCのPR用のDVDを完成させます。さらに市社協との協働により引き続き新たなDVDを作ります。

財政面については、12号車の購入などで資金がひっ迫しており、寄付募金の促進、イベントでのバザーの展開、協賛団体の獲得、切手グループなどの寄付など重要な課題です。

これからの運営に当たっては引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

《事業内容》

1. 高齢者、障がい者への援助活動

(1) HC運行事業

「福祉有償運送」の登録団体である当協会は、福祉車両2台およびセダン型9台による単独では外出困難な方のための福祉移送援助事業を行っていきませんが、昨年からの新型コロナウイルスの感染が拡大している現状を踏まえ、感染状況により活動を一時中止するなどの対応を適宜進めます。また活動を実施する場合でも感染防止対策の徹底を行って参ります。なお、引き続き「かながわ福祉移動サービスネットワーク」に加盟します。

- ・実施時期 年間を通して実施します。
- ・実施場所 相模原市内及び周辺地域（相模原市役所を起点として直線30Km以内）
- ・従事者 当協会会員
年間総数は延べ約1,000名を見込みます。
- ・対象者 市内（旧市域）の障がい者、高齢者、延べ1,400名を見込みます。
- ・支出見込 交通費、燃料費、車両維持費、車両減価償却費、活動旅費、駐車場利用料等

合計 **2,704,000 円**

(2) 高齢者への傾聴ボランティア活動

2014年から始めた居宅訪問型の高齢者の傾聴ボランティア活動ですが、新型コロナウイルス感染防止のための緊急事態宣言下では活動を自粛せざるを得ず、活動の継続性に困難が生じることはあっても、長い目でみて粛々と活動を継続していきます。長くお会いできなくとも、活動再開時に喜びをもって迎えてくださる姿を力に換えて継続していきます。

これからの高齢化の進行に伴い介護保険制度のひっ迫が懸念されています。この無償の傾聴ボランティア活動により高齢者が元気になり、介護度の改善に繋がって行けばさいわいです。2018年度より新たに設けた傾聴委員会において、活動上の問題点を把握し、改善につなげるようにし、活動の広報などを行い、利用の促進を図ります。

- ・実施時期 年間を通じ実施します。
- ・対象者 独り暮らしや種々の状況のために孤立しがちな方を対象とします。
- ・実施場所 原則として居宅へ訪問します。
- ・従事者 当協会員を派遣します。
- ・支出見込 交通費、研修費他として **154,000 円**

(3) ボランティア団体とのネットワークづくりと交流事業等

(イ) ほかほかふれあいフェスタ2021の開催

障がい者、ボランティア、市民との交流行事「ほかほかふれあいフェスタ2021」を開催し、相互理解の機会とします。(実行委員会参加方式)

- ・実施時期 10月16日(土)及び11月27日(土)(障害者週間キャンペーン)の日程で実施します。
- ・実施場所 10月はあじさい会館とウェルネスさがみはら前広場で、11月はサンデッキ相模大野で開催予定です。
- ・従事者 障がい者などの当事者団体との実行委員会形式とし、さらに当日参加のボランティアを募る方式です。当協会員の参加は50名を予定します。又、相模原市、市教育委員会、市社会福祉協議会、市社会福祉事業団の後援を予定します。
- ・対象者 市内の障がい児者、一般市民を対象とし各2,000名の当日参加を見込みます。
- ・支出見込 実行委員会形式のため、分担金方式となります。当協会は **50,000 円**の支出を予定します。

(ロ) 障がい児者とのボウリング大会

障がい児者との交流ボウリング大会を開催します。(理事会、実行委員会)

- ・実施時期 2月に開催します。
- ・実施場所 市内の相模原パークレーンズ様のご厚意によりレーンの無償提供を予定します。
- ・従事者 ボランティアや当事者団体との実行委員会形式とし、当協会の参加は約10名とします。
- ・対象者 障がい児者、家族、付き添い、ボランティアで約80名を予定します。
- ・支出見込 **46,000 円**

(ハ) その他援助事業

相模原市社会福祉協議会ボランティアセンターと協働して、小地域では対応が難しい障がい者、高齢者等のニーズの発見と対応に努めるとともに、外出援助、訓練介助、保育、行事援助等のボランティア派遣を行います。また、ボランティア活動機会の増加のために“いるかバンク制度”の活用を行います。

家具転倒防止に関する活動については、新しくボランティアを確保し、体制を整えて活動する方向で検討します。

さらに、当協会では“人との交わりが苦手な若者”を受け入れ、社会体験や人との交流体験の場を提供する就労支援や高齢者を対象とした「住まい探しサポート事業」に協力してきました。今年度もこれらの活動を継続してまいります。

- ・実施時期 年間を通して実施します。
- ・対象者 障がい者、高齢者
- ・実施場所 相模原市及び周辺地域
- ・実施者 当協会の会員を派遣します。

2. ボランティア養成に関する活動

当協会の基本精神である「市民による市民のための地域福祉向上」のために、ともに取り組む仲間づくりに役立てることを目的とします。目下の状況の下では会場の確保や集まることに対する問題もあり、どのようなことがどのようにできるのかについては十分な検討が必要です。ただ、このような状況下でも必要な講座、可能な講座のありかたを追求し、できるものから実施していきます。

[ボランティア養成講座 基礎・コース別講座]

- ・実施時期 未定
- ・実施場所 あじさい会館および周辺の施設を予定します。
- ・従事者 講座実行委員会として、市内のボランティア団体の協力を得ながら、各講座を開催します。
- ・対象者 主として相模原市に在住、在勤の者を対象とし、基礎講座はほぼ1回について70名程度の参加を見込みます。
- ・支出見込 **170,000 円**

[ボランティア入門講座]

- ・実施時期 ボランティア入門講座は2月～3月に予定します。
- ・実施場所 市内
- ・従事者 別途設置する講座検討委員会の企画により、市内の福祉施設やボランティア団体の協力を得ながら講座を開催します。
- ・対象者 主として相模原市に在住、在勤者を対象とし、ほぼ30名程度の参加を見込みます。
- ・支出見込 **67,000 円**

3. 情報発信に係る事業

(1) ぼらんていあ通信の発行（広報委員会ぼら通部会）

当協会の広報誌としての役目を担う「ぼらんていあ通信」を毎月発行します。ぼらんていあ通信は協会活動の予告や報告を掲載するほか、当協会や地域で活動しているボランティア団体の情報、各種ボランティアグループの状況をできるだけ採り上げ、協会員以外の団体・機関でも閲覧いただき、身近なボランティア活動の広報誌として活用できる楽しいものにします。

- ・実施時期 当協会の機関紙として毎月発行します。
- ・配布先 会員への郵送を原則としますが、市内の学校、公民館、福祉施設、協賛企業などにも無料で配布します。また、ホームページにも掲載します。
- ・従事者 1回の編集につき、それぞれ担当者数人が関わる予定です。
- ・支出見込 ぼらんていあ通信発行費として **349,000 円**

(2) ホームページの公開（広報委員会情報部会）

協会ホームページの更新を随時行い、市民への情報発信に努めます。また、事務局と会員間及び会員相互間の通信手段として活用できるよう内容充実に努めます。

- ・実施時期 当協会のホームページを逐次充実させ、内容の更新を図っていきます。
- ・従事者 更新担当者数名が関与します。
- ・対象者 ホームページ閲覧者であり、月に1,000人規模を見込んでいます。
- ・支出見込 回線サーバ使用料、メンテナンス費用として **24,000円**

(3) ボランティア情報誌の発行（広報委員会わくわく部会）

ボランティア情報誌「わくわく」は、ボランティアに関連する情報、地域の話、制度の紹介、特定のテーマの掘り下げなど楽しい読み物として親しまれるものを目指します。

- ・実施時期 4月に50号発行の予定ですが、この発行をもって休刊とします。
- ・配布先 300部を製作し、希望する会員や関係者へ配布します。
- ・従事者 制作担当者数名が関与します。
- ・支出見込 取材、印刷などの費用として **15,000円**

(4) 外部に発信できるコンテンツの制作

昨年度から開始したこの活動は、新型コロナ禍においてもあらゆる方々との情報交換、交流、啓発に役立つものと考え、推進していきます。会わなくても伝えられること、何を伝えたいのかがわかるもの、新たにつながることに役立つものなど、広く検討しながら進めていきます。

4. 相模原市、市社会福祉協議会等の事業への参加及びボランティア団体との交流

(1) 市民桜まつりへの参加

2021年度の相模原市民桜まつりは、新型コロナ感染拡大の影響で昨年に続き相模原市より中止の通知がありました。

- 2022年度の参加に向けて準備いたします。 ・支出見込 年間 **8,000円**（次年度分）

(2) 市社会福祉協議会への加盟

市社会福祉協議会へは引き続き加盟します。

- ・支出見込 年間 **5,000円**

(3) 東林まつり等の地域福祉祭りへの参加

市社協南ボランティアセンターの開催するイベント等に参加します。

- ・実施場所 東林公民館、南区地域福祉交流ラウンジなど

(4) 相模原災害ボランティアネットワーク（SSV）への参加

当該団体の運営委員として、行政、他地域関連、防災訓練等に係わっています。

- ・実施場所 あじさい会館（毎月定例会及び役員会開催）、その他
- ・支払見込 年会費 **3,000円**

5. その他活動

(1) 法人運営、法人運営事務及びHC運行調整事務のための活動

当協会の運営が円滑に進められるよう理事会、各委員会等を定期的に行います。事務局においては法人運営のための庶務部門とHC調整部門があります。これからも事務局員の研修等事務局機能の改善・強化を図ります。

- ・支出見込 総会費、委員会交通費、研修講習費、事務局運営費として **730,000円**

(2) 財源確保のための活動

認定NPO法人制度による税制の優遇措置のPRに努めるほか、賛助会員の募集を行い、活動財源の確保を目指します。

- ① 認定NPO法人の税制優遇措置制度を活用した募金活動
- ② 地区でのイベントなどの機会をとらえてのバザー、模擬店出店など
- ③ 使用済みテレカや切手などの収集
- ④ イオングループ主催の幸せの黄色いレシートキャンペーンに参加
- ⑤ イベント開催における協力依頼

・収入予定 750,000 円

(3) 会員交流会

会員相互の交流やコミュニケーションの活性化を目標に、親睦会や会員向けの研修など意見交換の機会を設けます。

・支出見込 10,000 円

(4) 40周年記念事業

協会設立40周年を迎えるにあたり、記念誌の発行を計画します。編集には会員からの参加を募集します。

・支出見込 55,000 円